

第21回新生匠瑳戦略会議 会議録

開催日時：平成24年11月16日（金）

午後7時00分～8時00分

開催場所：匠瑳市役所議会棟第2委員会室

出席委員：（学識経験者）渡辺新

（団体推薦者）宇野充紘、萱森孝雄、鈴木和彦、橋場永尚

（一般公募者）大塚榮一、岡田陽子、永野亮太、林暁男、八木幸市

（10人／名簿順）

欠席委員：（学識経験者）鎌田元弘、木村乃

（団体推薦者）安藤建子、越川竹晴、越川八代枝

（5人／名簿順）

市出席者：（事務局/企画課）小川課長、大木副主幹、富井副主査（3人）

1 開 会

2 あいさつ（渡辺委員長、小川企画課長）

（省略）

3 議 事

（1）提案書（最終報告）について

[議長]

まず、報告書を作成して感じてきたことは、報告書の本文に出てくる言葉というのは、会議の中で出てきているものが多いということです。この2年間で、私も知らないことがたくさんあり、非常に勉強になりました。それらをまとめたものが最終報告ということになると思います。

問題は、総合計画もそうですが、今回の報告書の内容が実現するかどうかということですが、そのへんについては事務局いかがですか。

[事務局]

報告書は受けて終わりではなく、実現するために次のステップへとつなげていくつ

もりです。

[議長]

中間報告にも書きましたが、一番変わらなければならないのは、行政職員だと思えますので、これはぜひ実現してほしいと思います。

さて、報告書の内容についてはこのあと見ていきますが、まず体裁についてはいかがですか。本編として第Ⅰ部「地域づくりの仕組みと考え方」、第Ⅱ部「匝瑳市再生プラン」があり、附編として病院の意見書、最後に資料編という構成になっています。個人的にはこの構成で問題ないと思っています。

また、タイトルについてはいかがですか。これまで議論してきた最終報告のタイトルが報告書の一番前に出てきて、第Ⅱ部は「匝瑳市再生プラン」となっています。あと細かいことですが、章の見出しなどが最後にきてしまう場合には、次のページの頭に持っていった方がいいと思います。特に問題なければ、この体裁でいきたいと思います。

それからⅡ部の内容についてですが、小委員会では約4時間にわたってチェックを行いました。そこで出た修正意見などを検討しまして、そのとおりに直しているものもありますし、前後の文章構成から最小限の修正に留めてある部分などもあります。

”built in Sosa”の部分については、検討した結果”made in Sosa”とすることになりました。

「赤ピーマンと若潮牛」については、若潮牛の説明が短く、他のものとは違った文章構成にもなっていましたので、最後の段落に移動させて短くまとめてあります。

[事務局]

若潮牛については、小委員会の中で調べておくようにとの指示がありましたので、市産業振興課に聞いてみました。しかし、具体的な情報は得られませんでしたので、インターネットなどの情報をもとに、自分なりに調べてみました。いくつか情報が掲載されていましたが、その情報が正しいものかどうか判断がつかなかったため、連絡先として掲載されていた「そうさ若潮牛振興協議会」という団体に電話してみました。すると、海上にあるJAちばみどり（畜産課）につながり、そこが協議会の事務局になっていました。若潮牛の担当者もいらっしゃいましたので、内容を確認してもらい、確認がとれれば掲載したいと考えていますがいかがでしょうか。

[議長]

確認がとれるようでしたら、ぜひ掲載をお願いします。もし、確認がとれないようでしたら、具体的な内容までは触れずに、このままの文章でいきたいと思います。

[A委員]

それから「ひかりねぎ」の記述ですが、戸数、作付面積、販売額が違っていると思います。JA（サンフレッシュそうさ）に問い合わせてもらえれば直近の数値がわかると思いますので、問い合わせしてみてください。

[議長]

わかりました。数値については事務局で確認し、修正をお願いします。「ひかりねぎ」は、地元ではあまり消費されていないと思いますが、本当に有名なのですか。

[A委員]

全国的にはかなり有名です。例えば、市場でネギの値段を決めるときには、まず基準となる価格を決めるわけですが、その基準となるのが「ひかりねぎ」です。その次に、他産地の一流ネギをそこから100円安くし、さらに二流ネギを200円安くするというような方法で値段を決定します。

[B委員]

基準となるぐらいだと生産量もかなり多いのでしょうか。

[A委員]

生産量はそこまで多くないと思います。

[B委員]

生産量がある程度なければ基準になることは難しいと思いますので、それでも基準になれるというのは凄いことだと思います。

[A委員]

ネギを作っている人であれば、「匠瑤」、「ひかり」と聞けば、千葉県のあの場所だなというのがわかります。

[議長]

それだけ有名なのに、地元の人が食べたことがないというのは問題ですよ。

[B委員]

最近はそういう傾向があるような気がします。いいものは高く買ってくれる都市部に流通していきますよね。

[C委員]

「ひかりねぎ」や「若潮牛」を使った鍋を地元の名物として作ってみてはいかがですか。地元で消費の需要があれば流通すると思いますが。

[議長]

ぜひ商工会などでそういう取組みを行ってほしいと思います。地域の食材で地域のレシピができれば、一種の文化運動につながります。

[D委員]

B委員に確認したいのですが、本文中に「清水の湧きでる豊かな自然に囲まれ」とありますが、市内の田んぼではこういう環境がないような気がします。この場合、実際に存在するのは「しみ出てくる水」だと思いたいますが、ここではどういう表現を使ったらいいのでしょうか。

[B委員]

確かに清水ではありませんが、湧水は出ていますよね。

[D委員]

そうすると、「湧水豊かな自然に囲まれ」という表現の方がよろしいでしょうか。

[議長]

これは実際に米作りをしている人に聞いた話なのですが。

[B委員]

そういう米作りをしていないわけではないと思いますが、常に水が出てきて、土が乾かなくなってしまう場所では、米が作りにくいと思います。昔は山の下に溝を作って、しみ出た水を溝にためて使っていることはあったと思いますが、最近はあまりないと思います。

[議長]

いずれにしても、清水の湧き出る状態ではないということですよ。

[B委員]

どちらかというと、ジワジワとしみ出てくる感じだと思います。

[C委員]

「清水の湧き出る」という部分を削除しても、その後に「豊かな自然に囲まれ」とつながりますので、文章的には削除しても問題ないと思います。清水は湧き出なくても豊かな自然はありますので。

[議長]

わかりました。該当部分は削除することとします。

[D委員]

それから、山百合プランのところで、山百合が「簇生（そうせい）しだす」とあります。この言葉の意味は「群がって生える」ということらしいですが、それとはニュアンスがちょっと違うような気がします。また、表現的にも難しいので、「生育しだす」とか「開花する」などの表現に改めた方がいいと思います。

[B委員]

小さい山百合は、里山を整備して初めて顔を出すことができます。山百合は球根なので、種が飛んできて花を咲かせるというわけではありません。元々、球根自体は存

在しているのですが、藪の中ではなかなかわかりにくいと思います。

[議長]

では、「開花する」という言葉で置き換えることにします。

それから、私が少し勘違いしていた部分がありまして、それは図3「里づくり協議会」のところですか。匝瑳市では2011年に「匝瑳市里山づくり活動支援事業補助金要綱」を告示していますが、その趣旨の中で「里山条例に基づく」と書いてありましたので、すっかり市の里山条例のことだと思っていました。しかし、市には里山条例はなく、再度見直してみたら千葉県の里山条例のことだと気づきました。市の里山条例があると思っていたので、当初、「里づくり計画」や「ゾーニング・利活用」の部分に「市長・行政」が関わるように矢印をつけていたのですが、県条例となるとそこまでは必要ないと思いましたので、この部分は削除することとしました。

また、海岸侵食問題については「付記」で少し触れていますが、「匝瑳の魅力ある海岸づくり会議」は、県行政の主導で進められているということで間違いはないですか。

[事務局]

間違いありません。

[議長]

あとはいかがでしょうか。特になければ、本日いただいた意見を基に修正し、最終報告の完成としたいと思います。その他、細かい字句の修正などは、私と事務局に一任していただくということによろしいでしょうか。

[出席委員全員]

異議なし。

[議長]

それでは、最後に事務局の方で連絡事項はありますか。

(2) その他

[事務局]

3点、事務連絡をさせていただきます。

まず1点目です。このあと、本日出された意見などを最終報告（案）に反映させ、最終報告の完成となります。そして20日の午後2時から市長へ提出となりますので、委員長、副委員長に出席をお願いします。

次に2点目です。会議録については、作成次第、委員の皆さんに御確認いただいているところですが、任期終了までに全ての会議録を作成することは日程的に厳しい状

況となっています。大変恐縮ですが、任期終了後も会議録の確認については御協力をお願いしたいと思います。

最後に、本日の会議録については、順番でE委員、C委員に確認をお願いします。連絡は以上です。

[議長]

それでは時間になりましたので、本日の会議はこれで終了となります。2年間にわたり、大変お疲れ様でした。

[事務局]

ありがとうございました。

4 閉 会